

# 令和4年度 青森県立大湊高等学校第1回学校評議員会 議事録概要

1. 日 時 令和4年6月14日(火)9時50分～10時40分  
(公開授業8時50分～9時40分)
2. 場 所 青森県立大湊高等学校 会議室
3. 出席者 ・学校評議員(4名)  
学校評議員 A(教育に関する理解、及び見識を有する。元PTA会長)  
学校評議員 B(教育に関する理解、及び見識を有する。元PTA副会長)  
学校評議員 C(通学区域内にある町内会で活動をされている本校卒業生)  
学校評議員 D(教育に関する理解、及び見識を有する。保護者)  
・本校教員(7名)  
校長 教頭 事務長 教務部主任 生徒指導部主任 進路指導部主任  
探究デザイン部主任
4. 欠席者 なし
5. 配布資料 (1) 令和4年度 学校要覧  
(2) 令和4年度 経営計画  
(3) 学校状況調査  
(4) 進路指導部資料(令和3年度卒業生の進路状況、令和4年度生徒の進路希望調査)  
(5) 生徒指導部資料(令和4年度春季大会・高校総体結果等)  
(6) 新聞で見る大湊高校生の活躍  
(7) 各年次便り、分掌の通信等  
(8) 令和3年度PTA会報誌「いぶき」、令和3年度同窓会会報誌「やまびこ」
6. 議事内容(進行:教頭)
  - (1) 会議に先立ち、校長から学校評議員の方々へ委嘱状が手渡された。
  - (2) 校長挨拶  
昨年度11月に県から正式に令和9年度統合校ができ、令和9年度本校は募集停止のため2年生と3年生のみ、令和10年度は3年生のみ、令和11年3月にこの校舎は使わなくなり、統合校がむつ工業の敷地にできるという発表がありました。少しずつですが新しい校舎にはどんな設備が必要かということ、どのように統合していくべきかということを考え始めています。実際にはもう少し後に、統合の準備室ができてから大きな動きになると思いますが、校舎の設計などにはそろそろ入っていくだろうというところです。この校舎には令和11年度以降は生徒がいないこととなりますが、それは大人の都合であり、今いる生徒たちには何も関係ないわけで、今の生徒たちの学習環境を保障するために先生方とみんなで一生懸命頑張っています。とにかく今いる生徒の豊かな学習活動を、物でも人でも学習内容でも充実させるために精一杯やっています。学校の教育活動は、ともすれば教員の視点だけで行っていると、一生懸命やっているけどもどこかとんちんかんだり、社会の動きとずれていたり、一生懸命であるが故に見落としていることが意外とあるものです。ですので、この学校評議員会では、保護者の視点から、地域の人としての視点から、卒業生を出した人の視点から、部活等をずっと見ていただいた人の視点から、ぜひ忌憚のないご意見をいただければ、また学校が良くなるきっかけになると思います。どうかよろしく願いいたします。  
※資料訂正:経営計画表紙「8ICT活動部→ICT活用部」
  - (3) 令和4年度の教育活動について  
ア. 令和4年度学校経営方針【校長より】
    - ① 主体性  
今年の経営方針はあえてたった一言にしてみました。それは、主体性です。今年度の教育活動はすべてここに集約され、すべてがここをゴールにして行っています。ただ、どういう主体性をどんな風に付ける

のかは先生方に考えていただいています。そういう形で今年度は進んでいます。この主体性を生徒たちに付けるために、どうやって行くのかということが、「令和4年度の重点目標実現するための具体的取組」に書かれてあります。1つ1つ説明する事は割愛させていただきますが、1番は新学習指導要領になり、評価が全く変わりました。昔の点数評価からは完全に脱却し、テストだけではなくて表現力や主体的に自分が学ぼうとする力、そういうものを看取りながら評価をするということになっています。戦後1番大きな学校教育の変化ではないかと思うくらいの変化です。昨年度から準備はしてきていますが、先生方が1番戸惑っているところです。でも、この大きな変化をチャンスと捉えて、生徒たちをより伸ばせる方法はなにかということ、今一生懸命に考えています。

## ②総合学科

総合学科とは、基本的には大学のように、自分の学びを自分で作り上げ、それで好きな授業を取れるということが元々の理念です。実際には、教員定数や学校の施設などの理由により、そうはなっていないです。総合学科といいながら、系列といいながら、ほとんど一つ固定された縦の学びになっています。これを変えて選択科目を設置し、3年生になって、自分の進路に合うものを、2時間でも3時間でも選べるようなカリキュラムを作れないかということ、今一生懸命考えています。

## ③探究活動

昨年度は総合学科部という名称でしたが、今年度は探究デザイン部と名前を変えて、探究活動を本気でやっています。地域と連携しながら、大学と連携しながら、様々な新しいアイデアを出していただいて、探究活動を今頑張っています。

## ④部活動

部活動は教育課程外ですが、本校においては大事な要素です。それが、ただただ時間だけ精神論でやるというのではなく、どうしたら科学的かつ生徒の力を伸ばせるのかということ、今一生懸命考えたり、講師を招き講演をしたりしています。

## ⑤面談

先生たちには面談をお願いしています。面談は、生徒に伝えることではなく、生徒の話を聞いてください。そして、どうしたいのか、そのためには私たち教員は何を手伝ってあげればいいのか、ということを中心に、生徒に自分自身を語る時間としていただきたいと思います。頻繁に面談を入れてくださいということをお願いして、ホームルームから教科、部活様々な形で面談を入れようとしています。また、学力とは関係なく合理的な配慮が必要な生徒が一定数います。人間関係に非常に強いこだわりを持っていたり、生きにくさを持っているような子供たちを、きちんと支援していきたい。それも担任だけが抱えるのではなく組織的に機能するために、どういう配慮をしてあげられるのか、もしくは配慮をしてあげられないのか、学校としてできる事はここまでですということ、保護者の方と了解をしいながらしっかり生徒を育てていきたいと思っています。

## ⑥教職員に求めること

右側のページは主体的な学校運営をする上で、先生方をお願いしている内容です。そして、そのために校長としてすることを文言化しています。「自分自身の人生の充実を図ってください。」については、昨年度、大場さんからもお話があったと思いますが、先生たちが豊かでなければ、先生たちが生き生きとしていなければ、良い教育はできないという思いを込めました。自分のため、家族のためにしっかりと休んで下さい。良い休養は良い仕事につながるとしています。ですので、働き方改革と言われますが、働き方改革もしくは休み方改革を本気でやっとう、やっといかなければと思っています。ただ、ビジョンはありますが、実際は過労死ラインといわれるような月80時間を超える先生が全体の半分以上です。教員という仕事は本当に一生懸命やればやるほど時間がかかりますし、どんなにICT化をしても仕事量はなかなか減らないです。それも変えていかなければいけないと思うのですが、それぐらい先生方は一生懸命やったださっています。

ざっと今年度の学校経営方針に関してご説明させていただきました。以上です。

## イ. 各年次・分掌の重点目標と取り組み状況

### ①教務部

学力差が大きくなり、問題を抱える生徒も多いという状況で、課題としては生徒の主体性の育成、地域・保護者との連携、業務の効率化がある。

具体的方策として

- ・新指導要領に伴う教育課程の再編成と自由選択群を設定することで生徒が主体的に科目を選択できるようにする。また、生徒の主体性をどのように評価するのか、各教科主任が中心になって検討し、生

徒に明確に提示できるように進めている。さらに生徒の主体性を育成するために、常に研鑽し授業改善を図っている。

- ・ホームページで随時学校の様子を更新し、御理解いただけるように努力している。外部機関として大学、むつ市と連携し、実技授業等の補強を行っている。
- ・不必要なものは廃棄し、より良い環境で先生方が業務に集中できるようにしている。データ化しながら、教職員の働き方改革という面にも気を配っている。勤務時間が過ぎたら頼まない、自分の仕事は自分で、できるだけ勤務時間内に行くことを率先して励行している。

## ②生徒指導部

素直な生徒が多く、落ち着いて学校生活を送っている。一方、リーダー的な役割を担う生徒や自分で考えて主体的に行動できる生徒が少ない。さらに、人間関係の構築ができずに悩んでいる生徒が非常に多いということが課題として挙げられる。以上から重点課題は4項目あり、具体的方策が考えられる。

- ・生徒が活躍できる場を提供し、その活躍の様子を学校ホームページで紹介するなどして生徒の自己肯定感を養う。
- ・学校行事や諸活動において生徒一人ひとりの意見を大切にし、生徒の考えを否定することなくチャレンジさせ主体性を育てる。
- ・友人関係や家庭の悩みによる不登校傾向の生徒については、週一回定期開催している教育相談委員会で情報共有や支援方法の検討を行い、組織的に対応する。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携を図る。
- ・感染対策や校内安全点検を引き続き行なっていくと共に『クリーンフライデー』と称して、毎週金曜日に重点清掃場所を決めて校内美化に取り組んでいくことで安全安心な環境を整える。

## ③進路指導部

昨年の進学・就職状況について、コロナ渦で求人が全般的に少ない。また、県外志望者が少なく、昨年度の進学率は70%を超え、就職率は30%を切るという状況である。進学に関しては指定校や学校推薦、総合型選抜での合格が増加傾向にある。専門学校への進学者も増加傾向にあるが、リスクも大きいため、適切な情報を提供して進路目標を立ててほしいと思っている。重点課題としては以下のとおりである。

- ・今年1番大きく動いたのがスキルアップ事業で、これは、高校3年間での生徒の校外活動をきちんとレポートに残し評価されることで単位化し、進路達成に役立てるという事業である。今年度から重点的に行い、生徒の自主性、社会性を育てていきたい。粘り強く支援していきたい。
- ・進路選択の幅を広げるための支援を各年次に適切に行う。各年次とも適性検査は既に終わり、進路別の講演会、公務員講習、民間就職対策、長期休業時の講習等、進路志望を高めていけるように企画していく。また、先生方の進路指導力向上に対する対策もおこない、特に3年次の進路対策は全教員で行っていく。

## ④探究デザイン部

新学習指導要領が本格的に導入され探究活動が重要性を高めている状況で、本校で取り組まなければならない課題として2つ考えられる。

- ・社会とのつながりをいかに生徒に持たせていくかということ  
実際に社会に出て本当にその社会にある課題に直面し、それに対してどのように答えを出していくかを生徒に考えさせていかなければならない。
- ・主体的に自分で意欲を持って本気で取り組むという生徒を育てていきたいということ。

以上の課題を克服しながら探究活動を進めていくための重点課題が以下のとおりである。

### 重点課題について

- ・1年次で行う産業社会と人間の授業の中で探究活動  
商工会議所と連携し、夏休みに生徒が実際各会社に訪問し、いろいろなインタビュー活動を行う。
- ・針路学（2，3年次で行われる総合的な探究の時間）課題研究をお通して探究活動を学ぶ。  
2年生：むつ市役所と連携したジオパーク学習を行うことで探究の基礎を学ぶ。その上での課題研究という形で学習を進めていく。指導体制が学年の担任のみになりがちなところを、学校全体での指導にできないかということも検討している。
- ・生徒の主体的な探究活動  
意欲を持ってやりたいと思った生徒が1歩踏み出せる環境作りが必要である。欲しい情報にすぐアク

セスできる、そういうチャンスを提供できる環境を整えようということで様々な試みを行っている。サイトを作り、そのサイト上で生徒がいろいろな情報を入手し、それをやりたいと思った時に参加できるということを目指して現在調整している。

#### ウ. 学校評議員からの御提言と意見交換

##### ①学校評議員 C

- ・資料によると図書の利用度が少ないということですが、ICT ももちろん大事だが、子供たちに高校生のうちにもっと漢字に慣れ、ぜひ活字に触れる習慣をこの3年間で身につけさせていただきたい。活字離れが進み、日常会話が噛み合わない場合もありますので、単語ではなく文章で答えることが大事なことであり、ぜひ図書の利用が広がるよう考えていただきたい。
- ・ICT の活用により紙の使用頻度が減るなどという、経済的な場面があるものなのか。例えば、職員会議でタブレットを使用することで変化はあるのかどうか。

→ [回答(教務部)]

生徒への授業アンケートは今まで紙だったものを電子データにしたため、その分はだいぶ減ったと思われる。運営委員会もデジタル化している。

##### ②学校評議員 B

毎年新しい取り組みをされており、すごく驚かされている。娘に今の大湊高校の様子を話すと、「今行きたかった」と言うのではないかというくらい、魅力的な学校にさせていただいているのではないかと感謝している。その中で、いくつか質問がある。

- ・教育課程の自由選択群について。子供たちの目指す将来像に向かって自由に選択するというのはすごく良いことだと思うが、15～18歳の子供たちにそれがきちんとできるかどうかという、まだ将来像がぼやけていたりすると難しいことだと思う。そのような子供たちへのフォローを十分していただきたい。
- ・部活動については、適切な休養日の設定はすごく大事だと感じているので大事にしていきたい。
- ・学校評議員 C から活字離れに関する話があったが、図書室と図書準備室を見させていただき、何社もの新聞があり読み比べもできてすごく良いと思った。ただ、中高生向きの新聞は、時事ネタをはじめ、今どきの中高生の子供たちがすごく興味を持ちやすい記事を掲載しているので学校に置くことを検討していただきたい。
- ・統合により大湊高校は令和10年度で終わるということだが、それまでも生徒はいるわけで、どう考えても建物の老朽化は進んでいき、あと6年は続くため補修や必要なものの修繕などは、巡回等をしっかり行っていただきたい。階段の防火扉付近に物がある場所が何箇所かあったので改善してほしい。

##### ③学校評議員 D

来校は2回目で、授業を見るのは初めてだが印象に残った授業があった。

- ・1年次の数学の授業で、わからないところを皆で教え合うというのが、仲間意識があって良いと思った。
- ・自分の高校時代もそうだったが、居眠りもみられたので、そこは先生が起こしたりはしないのだろうかと思った。

→ [回答(校長)]

生徒の体内時間がスマホの長時間の使用などで狂っているように感じる。それぞれの授業でももちろん起こしてはいると思う。そのようなことがないような魅力的な授業をしようとしていると思うが、なかなか乗ってこない生徒がいるというのが現状かもしれません。

→ [回答(教頭)]

保健室に9時前から来室し、寝させてくれという生徒もいる状況であり、特にそこまで具合が悪いわけでもないと思うのだが、もしかしたらコロナの休業で出停扱いとなり、生活リズムが狂っているのかもしれない。全国的にそのような傾向にあるようだ。ただ、寝ているものをそのままにしておくことは教育的指導ではないため、確認したいと思う。

- ・挨拶をする子、挨拶をしない子がいた。今後社会に出てから、挨拶は人として大切だと思うから、身につけさせてほしいと思う。
- ・保護者として、家族の会話の中で、校則について去年は冊子を教室で見たが、今年は見えないとのことだった。3年次の教室を見たときに、校則の冊子がぶら下がっていたが、他の教室では見られなかったため、わかるように掲示していれば、先生方も指導がしやすいし、子どもたちも校則を理解すると思う。
- ・いじめへの対応は高校ではどうなっているのか。いじめはなくならないと思うが。

→ [回答(生徒指導部)]

年5回いじめに関するアンケートを実施している。それを受けて、いじめ防止委員会を開催するという形をとっている。それ以外でも、日々訴えがあればその都度対応していく。SNSなど見えないところでのいじめが増えてきているため、その部分に対しては慎重かつ迅速に対応したいと考えている。

・こちらに電話すると「大湊高校です」と出るが、自分が学んだマナーは「大湊高校の〇〇です」と名乗るようにとのことだが、大湊高校ではどうなっているのか。

→ [回答(校長)]

私も基本的には名前を名乗るべきだと思っているが、いたずら電話が多く、特に本校の事務職員は若い女性であるため、前に名乗ったら、そこからしつこく電話がくるようになった経緯がある。恐らく、学校などは電話を切ることにはできないため、そのような人たちの標的になっているのではないかと感じる。本校でも名乗って対応したいところだが、相手がきちんとした人で名乗ってくれて、相手から名前を聞かれたらお伝えしているつもりである。ただ、電話を受けてすぐに名乗るということは、本当はしたいができない状況である。

#### ④学校評議員 A

毎回この場で話していることだが、主役は子供たちである。それをサポートするのが校長始め教職員とされているため、その辺りを大人の判断で、子どもの理解力とは異なる大人の理解で解釈しないようにしていただきたい。

校長の経営計画を「主体性」の一言にしたということだったが、「主体性」とは非常に都合の良い言葉で、如何様にでも解釈ができる。校長の考え、思いを他の先生方も同じ考えで、同じようにこの主体性に繋げていただきたい。校長を筆頭に同じ方向を向いて進めていただきたい。

### 7. スクールミッション作成のための学校状況調査票についての御提言

#### (1)学校状況調査について説明

各学校で「スクールポリシー」を今年度末までに策定しなければならない。その前に県教育委員会が作成する各校の具体的役割「スクールミッション」つまり各校で「スクールポリシー」を作成する上での指針となるものが必要である。簡単に言うと学校状況調査は、教育委員会がスクールミッションを作成するための調査である。ということでご意見を伺いたい。必ず学校評議員の方に承認を得るようにとのことなので、この承認を得てから県教育委員会に提出ということになっている。すでに、運営委員会と職員会議では提示しており、評議員の皆様目を見て「これでいいのではないか」もしくは「この文言を足した方がいいのではないか」など、御意見を伺いたい。

#### (2)御提言

##### ①学校評議員 C

生徒観について

マイナスの表記が多く、何か良い部分がないかと思ったところ、経営計画の生徒指導部の内容で、「目立たないながらも各分野で力を持っている生徒が多い」など、この辺りをぜひ載せていただけないか。磨けば光るなど。

学校に対する期待：これは、生徒から何かアンケートなどを取ったのか。

[回答(教頭)]

昨年度2回学校評価アンケートという形で、生徒と保護者からご意見をいただいた。

#### (3)今後の予定

2月上旬に開催する第2回学校評議員会の際は、スクールポリシーについての承認をお願いしたいと思います。次年度、グランドデザインを作ることになるのでまた資料を送らせていただきます。

### 8. 校長謝辞

朝早くからありがとうございます。

丁寧に色んなところを見ていただき、様々な私たちが見落としがちな視点でご意見をいただき感謝しています。必ず学校運営に生かしていきます。次回の学校評議員会では、いただいたご提言を先生方みんなでご考え、進んでいることをご報告できるように、一生懸命学校を前に進めます。その主役は生徒で、そこを中心としながら進んでいきます。7月の課題研究のポスターセッションには学校評議員の皆さんをご招待することになっています。今までは選ばれた生徒数人が壇上で発表していましたが、今年度からは全員が

ポスターを前にして体育館で一斉に発表します。それをみにきてください。今後ともどうか学校教育活動への理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## 9. 閉会